

相談支援部会・計画相談部会	
部会設置の 目的	相談支援従事者が集まり、個別の相談支援の充実や地域の相談支援体制の強化をはかる …地域課題の検討には本人理解（アセスメント・ニーズの把握）の質を高めていくことが肝！すると、自ずと地域課題の検討に繋がる！ ＊相談支援部会：相談支援従事者の支え合いネットワーク、地域課題の抽出と、検討 ＊計画相談部会：計画相談支援事業所の連携・相互支援、相談支援専門員のスキルアップ
今年度の 開催状況	＊幹事会…①5/7、②6/4、③9/3、④10/1、⑤12/3、⑥1/7、⑦3/4 ＊相談支援部会…第 1 回「GSV」：8/2、第 2 回「抽出会議」：8/13、 第 3 回「地域課題検討会①」：10/31、第 4 回「地域課題検討会②」：2/7 ＊計画相談部会…第 1 回：7/11、第 2 回：12/20 ＊計画相談部会「ミニミニサロン」…フリートークの会 ①4/24、②5/22、③11/27、④1/22、⑤3/26 家族支援の勉強会①7/26、②9/27 ＊横浜市発達障害者支援センター「地域連携プログラム」との共催研修…11/13 ＊「相談支援従事者初任者研修」インターバル実習を受け入れ…①12/20、②1/22
今年度の 課題認識・ 取組の意図	①（引き続き）区域の相談支援体制を強固に！相談支援従事者の支え合いネットワークとスキルアップ ②（引き続き）相談支援従事者は「ソーシャルワーカー」！【個別の支援】から【地域づくり】へ ③GSV 事例から抽出された「地域課題（と思われること）」に対して、未検討のものが多く残っている ④GSV による事例検討だけでは「本人理解（アセスメント・ニーズの把握）の質を高める」には不十分
今年度の 取組内容	課題認識① 区域の相談支援体制を強固に！相談支援従事者の支え合いネットワークとスキルアップ ☞どんな取り組みをした？ ✓相談支援部会で、「グループスーパービジョン（GSV）を用いた事例検討」を実施 ・第 1 回相談支援部会「GSV」（8/2）：計 4 事例について検討 ✓相談支援部会として、「相談支援従事者初任者研修」インターバル実習を受け入れ ・4 名の受講者を受け入れ（①12/15、②1/23、③1/26） ・新しい相談員にも、相談支援部会の支え合いネットワークを実感していただき、参画につなげる機会に ✓計画相談部会で、『ミニミニサロン』を開催 ・フリートークの回（①5/24、②5/24、③11/27、④1/22、⑤3/26）集合＋オンラインで途中入退出可 …より敷居を低く、気軽に、何でも話せる場として ⇒ 相談員のエンパワーメントに …地域課題と思われる話題（移動の問題、8050 問題等）も出された ✓相談員と 2 次相談支援機関とのつながりづくり ・『ミニミニサロン』にて、十愛病院との共催で「家族支援」をテーマに勉強会を実施（①7/26、②9/27） ・横浜市発達障害者支援センター「地域連携プログラム」と共催して研修会を実施（11/13） 課題認識② 相談支援従事者は「ソーシャルワーカー」！【個別の支援】から【地域づくり】へ ☞どんな取り組みをした？ ✓相談支援部会で、地域課題の「抽出会議」を実施 ・第 2 回相談支援部会「抽出会議」（8/13） …新たに「難病の方が地域で活躍できる支援や場づくりの手法・仕組みが必要」「大学生の就労支援の手法・仕組みが必要」という二つの課題が挙げた 課題認識③ GSV 事例から抽出された「地域課題（と思われること）」に対して、未検討のものが多く残っている ☞どんな取り組みをした？ ✓地域課題の「検討会」を 2 回、実施 …未検討の地域課題 25 件⇒14 件

今年度の 取組内容	課題認識④ GSV による事例検討だけでは「本人理解（アセスメント・ニーズの把握）の質を高める」には不十分 ☞ どんない取り組みをした？ ✓ 計画相談部会で、「事例を用いたアセスメント体験～本人のニーズって何？」をテーマに開催 ・第1回計画相談部会（7/11）、第2回計画相談部会（12/20） ・ジェノグラムやエコマップで可視化する手法、ストレングス視点などから、本人や環境の理解を深めるワークを行う ・横浜市総合保健医療センター飯塚氏から助言をいただく	
今年度の 成果と課題	成果	○新たに「難病の方が地域で活躍できる支援や場づくりの手法・仕組みが必要」「大学生の就労支援の手法・仕組みが必要」という二つの課題を抽出できた ○未検討の地域課題を、25件から14件まで減らすことができた ○2次相談支援機関（十愛病院、横浜市発達障害者支援センター）と連携した研修会を通して、区域の相談支援専門員・相談員が2次相談支援機関とつながるきっかけとした ○相談支援において“肝”である「本人理解（アセスメント・ニーズの把握）」の質を高めるために、「アセスメント体験」をテーマとした部会を開催できた
	地域課題	●別紙『地域課題と、それに対して取り組めること』を参照
	部会運営 の課題	●事例提供者を増やす仕掛けが必要（事例提供者＝個別の支援あつての地域課題） ●GSV のファシリを担う人を広げる仕掛けが必要 ●引き続き、地域課題（と思われること）を抽出・検討する手法を確立させることが必要 ●抽出した地域課題（と思われること）に対する取り組みの検討は、相談支援部会だけに留めるのではなく、自立支援協議会全体として行っていく必要がある ●アセスメント力向上のための取り組みとして、アセスメント中心の事例検討をどのように実施していくか ●新任の相談支援専門員へのサポート：資源情報、制度、計画書等作成、記録作成 等を含めて
他の部会に 聞きたい事／ 共通課題	●福祉サービスに馴染まない方、サービスありきではない方（軽度、一般級・校、ひきこもり等）への支援の手法・仕組みが必要 ●障害児の計画相談支援事業所が充足していない ●障害福祉と教育、医療、高齢福祉等の多職種・他領域連携を促進する仕組みが必要 ●意思決定を支える手法・仕組みが必要 ●保護者・家族を支える手法・仕組みが必要 ●地域全体で子育てする手法・仕組みが必要 ●精神保健教育、障害理解などの福祉教育…本人・保護者・支援者	
今後の取組	☆GSV を用いて、相談員の振り返りと気づきを共有 ⇒相談員の支え合いネットワークの構築 ☆本人理解（アセスメント・ニーズの把握）の質を高める ⇒アセスメント中心の事例検討の実施を検討 ☆地域課題（と思われること）に対する取り組みの検討 ⇒自立支援協議会において全体化したい ☆相談支援部会・計画相談部会としてできる地域課題への取り組みを継続して行う …高齢福祉分野との連携：4/22「ケアネットつづき」との共催部会 新任の相談支援専門員へのサポート	